



横浜市立岡村小学校・学校だより R3.2.26 学校ホームページURL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>

「ありがとう」の感謝を

副校長 石渡範子

学校にある梅の木は、今最もきれいな時を迎えています。つい先日まで、堅いつぼみでしたが、そのつぼみも徐々に膨らみ、一輪また一輪と咲き始めました。

学校では、今年度最後の月となり、様々な教育活動を通して、総まとめをしています。今月 19 日に控えています卒業証書授与式は、最高学年の子どもたちが旅立つ晴れの舞台の日であり、学校で最も大きな行事の一つです。この式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来賓、在校生は参加せずに卒業生と保護者様(2名まで)、教職員のみとし、当日の朝は、運動場で在校生とのお別れ会を行う予定です。

今、おかむら委員会の5年生が中心となり、全校で卒業生を送るための準備が始まりました。「なかよし班でお世話になった6年生へ感謝のメッセージを書こう！(1～5年)」「岡村アップの新バージョンづくり、新岡村アップを作ろう！(6年1組)」「岡村小の良いところを伝え、虎の巻を作ろう！(6年2組)」…こうした感謝を表す働きかけが学校中に広がっています。先日、数人の6年生がインタビューに職員室へやってきました。「副校長先生は、どんな仕事をしているのですか？」「どうして副校長先生になろうと思ったのですか？」「嬉しいことや大変なことを教えてください。」「今度入学する1年生にメッセージをお願いします。」「私たち6年生にもメッセージをお願いします。」等々です。子どもたちと挨拶を交わすことがあっても、それ以外でたっぷりお話をすることが数少ない副校長としては、とてもうれしい時間でした。さすが、6年生はインタビュー終了後、「ありがとうございました。」と丁寧に挨拶をしていました。感謝する心もち、お礼を言う場面は、日頃の学校生活の中でたくさんあります。子どもたちは多くのことを学び続けています。



さて、「本校の図書貸出冊数が目標を超え、2月10日の時点で1万冊を達成しました。どの学年も図書室をよく利用し、全校児童の読書量が増えました。」と、学校司書からうれしい知らせがありました。また一つ、岡村っ子の成長を感じました。本に興味をもち、読むことの楽しさを多くの子どもたちに知ってもらうために、図書館では様々な仕掛けが工夫されています。図書ボランティアの皆さんによる朝の読み聞かせも、子どもたちは大好きな時間で、本に興味をもつきっかけとなっています。いろいろな方に支えられ、今回の目標達成となりました。ありがとうございます。

日に日に寒さが和らぎ、春の訪れを感じます。今の学年の振り返りを行い、次の学年へ夢と希望をもって、自分のペースでしっかりと歩んでほしいと強く願っています。

保護者の皆様、地域の皆様、本校の教育活動を支えてくださいました皆様、ありがとうございました。お陰様で無事令和2年度を終えようとしています。今後ともご理解・ご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。